

四半期運用レポート

2016年1月～2016年3月

目次	ページ
1 特別勘定の種類と運用方針および特別勘定の運用状況	2
2 利用する外国投資法人の運用状況①	3
3 利用する外国投資法人の運用状況②	4
4 リスクおよび諸費用	5

利用する外国投資法人の投資顧問会社のご紹介

アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー



アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーは米国ニューヨークにある世界有数の資産運用会社です。1971年の設立以来、世界の機関投資家、富裕層、一般の個人投資家の皆様に、それぞれの国や地域のニーズに即した広範囲な投資運用サービスをご提供しています。運用サービスには、株式、債券、マルチアセット、オルタナティブ等があり、それぞれのサービスに特化したチームが調査・運用を行っています。

- ・アクサ生命保険株式会社の「利率変動型定額部分付変額終身保険(通貨選択型)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として外国投資法人を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「利率変動型定額部分付変額終身保険(通貨選択型)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

利率変動型定額部分付変額終身保険(通貨選択型)

特別勘定の四半期運用レポート(2016年1月～2016年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、外国投資法人を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する外国投資法人の投資顧問会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の種類と運用方針について

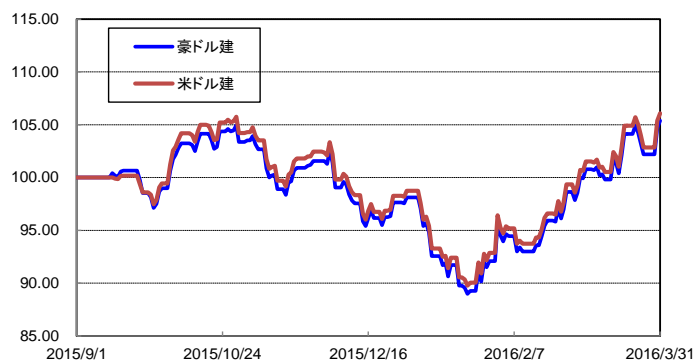
選択通貨	特別勘定	長期の戦略的資産配分	利用する外国投資法人		
			外国投資法人	運用方針	投資顧問会社
豪ドル	豪ドル建グローバル分散型(15)	インフレ対応型資産 25%程度	ルクセンブルグ籍 外国投資法人 アライアンス・バーン スタイン・ファンド・ ダイナミック・オール・ マーケット・ ポートフォリオ	<ul style="list-style-type: none"> ●投資対象を株式や債券などの伝統的資産に限定することなく、株式、債券、REIT、商品(コモディティ)、通貨などを含むさまざまな資産クラスに幅広く分散投資します。 ●資産配分においてはリスクバランスを重視、またレバレッジ取引を行うことで、安定的なリターンの獲得を目指します。 ●市場の状況に応じて資産配分を機動的に変更することで、リスク調整後リターンの更なる効率化を目指します。 	アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー
米ドル	米ドル建グローバル分散型(15)	成長型資産 25%程度 ディフェンス型資産 50%程度			

- ※ 特別勘定の運用対象、運用方針および投資顧問会社などの運用協力会社は、法令などの改正または効率的な資産運用が困難になるなどの理由により、変更されることがあります。なお、投資顧問会社などの運用協力会社については、運用成績の悪化など、当社がお客さまの資産運用にふさわしくないと判断した場合、変更させていただくことがあります。
- ※ 特別勘定には、各種支払などに備え、一定の現金、預金などを保有することがあります。

特別勘定の運用状況 [2016年3月末日現在]

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している外国投資法人の基準価額とは異なります。



※特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日の前日を100.00として計算しています。

		豪ドル建グローバル分散型(15)	米ドル建グローバル分散型(15)
ユニット プライス	2016年3月末	105.38	106.08
	2016年2月末	97.86	98.56
	2016年1月末	92.09	92.86
	2015年12月末	98.12	98.73
	2015年11月末	101.55	102.36
	2015年10月末	103.36	104.20
騰落率 (%)	過去1ヵ月	7.68	7.62
	過去3ヵ月	7.40	7.44
	過去6ヵ月	8.07	8.39
	過去1年	-	-
	過去3年	-	-
	設定来	5.38	6.08

※実際のユニットプライスの小数点第三位を四捨五入して表示しています。

※騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

■特別勘定資産の内訳

項目	豪ドル建グローバル分散型(15)		米ドル建グローバル分散型(15)	
	金額(千豪ドル)	比率(%)	金額(千米ドル)	比率(%)
現預金・その他	1,704	1.2%	143	1.5%
外国証券	143,183	98.8%	9,573	98.5%
合計	144,887	100.0%	9,716	100.0%

※各特別勘定で利用している外国投資法人は、「外国証券」の項目に含まれています。

※金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

利率変動型定額部分付変額終身保険(通貨選択型) 特別勘定の四半期運用レポート(2016年1月~2016年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、外国投資法人を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する外国投資法人の投資顧問会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する外国投資法人の投資顧問会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

利用する外国投資法人の運用状況① [2016年3月末日現在]

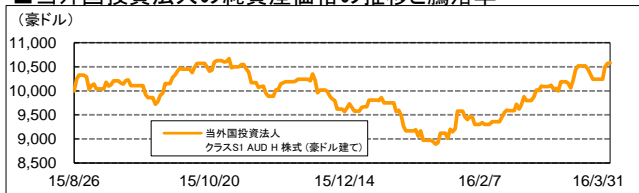
■利用する外国投資法人について

【外国投資法人名】ルクセンブルグ籍外国投資法人 アライアンス・バーンスタイン・ファンド・ダイナミック・オール・マーケット・ポートフォリオ *「当外国投資法人」と呼ぶことがあります。
【投資顧問会社】アライアンス・バーンスタイン・エル・ビー
【運用方針】

- 投資対象を株式や債券等の伝統的資産に限定することなく、株式、債券、REIT、商品(コモディティ)、通貨などを含むさまざまな資産クラスに幅広く分散投資します。
- 資産配分においてはリスクバランスを重視、またレバレッジ取引を行うことで、安定的なリターンを獲得を目指します。
- 市場の状況に応じて資産配分を機動的に変更することで、リスク調整後リターンの更なる効率化を目指します。

【クラスS1 AUD H 株式(豪ドル建て)の運用状況】

■当外国投資法人の純資産価格の推移と騰落率



	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
騰落率	7.19%	8.51%	6.76%	—	—	5.80%

※外国投資法人の設定日(2015年8月26日)を10,000として指数化しています。
※設定来の騰落率は、外国投資法人の設定日(2015年8月26日)を起点として計算しています。
※外国投資法人の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。
また、外国投資法人の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

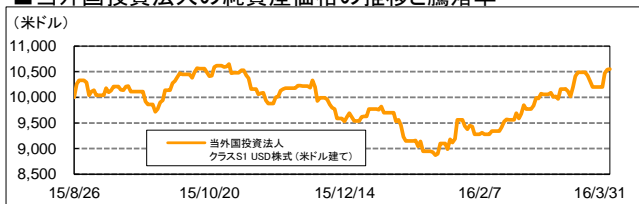
■当外国投資法人の概況

	当月末	前月末	前月末比
純資産価格	10,580豪ドル	9,870豪ドル	+710豪ドル
純資産総額(1万豪ドル)	14,338	11,069	+3,269

※ 純資産総額は単位未満切捨てで処理しています。

【クラスS1 USD株式(米ドル建て)の運用状況】

■当外国投資法人の純資産価格の推移と騰落率



	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
騰落率	7.22%	8.76%	6.57%	—	—	5.50%

※外国投資法人の設定日(2015年8月26日)を10,000として指数化しています。
※設定来の騰落率は、外国投資法人の設定日(2015年8月26日)を起点として計算しています。
※外国投資法人の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。
また、外国投資法人の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

■当外国投資法人の概況

	当月末	前月末	前月末比
純資産価格	10,550米ドル	9,840米ドル	+710米ドル
純資産総額(1万米ドル)	2,535	2,188	+347

※ 純資産総額は単位未満切捨てで処理しています。

・表示桁未満の数値がある場合、原則四捨五入で処理しています。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先: カスタマーサービスセンター
Tel 0120-375-193
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

利率変動型定額部分付変額終身保険(通貨選択型) 特別勘定の四半期運用レポート(2016年1月~2016年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、外国投資法人を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する外国投資法人の投資顧問会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する外国投資法人の投資顧問会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

利用する外国投資法人の運用状況② [2016年3月末日現在]

■当外国投資法人の実質的な資産配分割合とレバレッジ率(直近値)(直近1年間・各月末の推移)

(直近値)

〈実質的な資産配分割合〉

資産クラス	資産配分
成長型資産	29%
米国株式	7%
米国以外の先進国株式	6%
新興国株式	2%
社債	14%
インフレ対応型資産	30%
不動産(REIT)等	0%
コモディティ	5%
インフレ連動債	25%
ディフェンス型資産	41%
米国国債	26%
米国以外の国債	15%
合計	100%

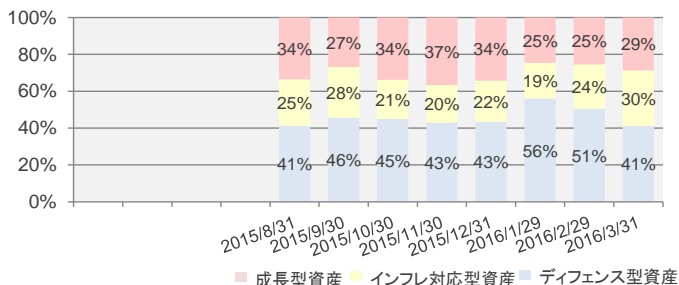
〈レバレッジ率〉

レバレッジ率	475%
--------	------

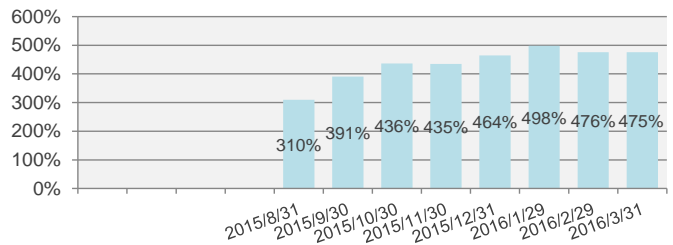
※各資産の運用はレバレッジを使用しているため、実際には合計で100%を超える比率で運用を行いますが、便宜的に合計が100%となるように引き直した数値を記載しております。ただし、端数処理を行った結果、合計が100%とならない場合もあります。
※実質的な資産配分割合は、一定のルールに基づき算出された値です。実際の資産配分割合とは異なる場合があります。

(直近1年間・各月末の推移)

〈実質的な資産配分割合〉



〈レバレッジ率〉



■当外国投資法人の組入銘柄数

	当月末	前月末	前月末比
組入銘柄数	207	264	▲57

■当外国投資法人の運用コメントおよび今後の運用方針

外国投資法人の騰落率は、クラスS1 AUD H 株式(豪ドル建て)が前四半期末比+8.51%、クラスS1 USD株式(米ドル建て)が同+8.76%となりました。ポートフォリオの寄与度分析では、新興国株式、社債、リート、国債およびインフレ連動債への配分がプラス寄与となりました。一方で、米国以外の先進国株式への配分がマイナス寄与となりました。

当四半期は、米国以外の先進国株式が下落した一方で、米国株式、新興国株式、リート、コモディティ、国債、ハイイールド債およびインフレ連動債が上昇しました。中でも新興国株式が最も上昇しました。そのような中、資産配分については、前四半期末に比べて成長型を減らした一方でインフレ対応型を増やしました。ディフェンス型については1月初めから2月初めにかけて大幅に増やしたものの、その後徐々に減らし、当四半期末でほぼ前四半期末と同水準としました。結果として、ポートフォリオ全体のレバレッジ率は増加しました。長期平均*との比較では、ディフェンス型のエクスポージャーは長期平均より低めとなりました。成長型およびインフレ対応型のエクスポージャーは長期平均より高めとなりました。

成長型資産では、社債や株式の配分を減らしました。株式については、1月初めから減らしていた新興国株式を2月初め以降徐々に増やした一方、米国株式や日本株式を大幅に減らしました。インフレ対応型資産では、インフレ連動債やコモディティの配分を増やしました。ディフェンス型資産では、米国国債の配分を増やし、米国以外の国債を減らしました。

引き続き、リスク・バランスに着目した投資顧問会社独自のダイナミック・アセット・アロケーション(DAA)・ツールに基づき資産配分を機動的に変更し、リスクを抑えながらも高いリターンを提供を目指してまいります。

*長期平均とは、長期的な目標となる平均値をいいます

・表示桁未満の数値がある場合、原則四捨五入で処理しています。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先: カスタマーサービスセンター
Tel 0120-375-193
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

利率変動型定額部分付変額終身保険(通貨選択型)のリスクおよび諸費用について

【投資リスクについて】

- 特別勘定資産は、株式、債券、REIT、商品(コモディティ)、通貨などで運用されるため、運用実績が積立金額、死亡保険金額、解約時の払いもどし金額などの変動(増減)につながります。
- 特別勘定資産の運用には、株価変動リスク、金利変動リスク、商品関連リスク、為替リスク、信用リスク、流動性リスク、デリバティブ取引のリスクなどがあり、積立金額や解約時の払いもどし金額は、一時払保険料を下回ることがあります。これらのリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
- 特別勘定資産の運用の結果がご契約者の期待どおりでなかった場合でも、当社または第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。
- 特別勘定の詳細については、「特別勘定のしおり」をご覧ください。

【諸費用について】

この保険では次の各費用の合計額をご負担いただきます。

【ご契約時】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費用	一時払保険料(基本保険金額)に対して8.5%	ご契約の締結の際に、一時払保険料から控除します。

【第1保険期間中】

■定額部分

直接負担していただく費用はありません。

積立利率の計算にあたっては、ご契約の維持などに必要な費用および死亡保険金をお支払するための費用をあらかじめ差し引いています。

■変額部分

項目	費用	ご負担いただく時期
運用関係費	平均純資産総額に対して、年率最大0.90% ^{*1}	特別勘定にて利用する投資法人における平均純資産総額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を毎日、投資法人の純資産総額から控除します。

^{*1} 前記の上限率を超える費用は投資法人の管理会社が自発的に負担します。ただし、管理会社が自発的に負担する費用には、ルクセンブルグ年次税以外の税金、仲介手数料および借入利息は含まれません。

【第2保険期間中】

第2保険期間中の死亡保険金額は、ご契約の維持などに必要な費用および死亡保険金をお支払いするための費用を控除する前提で算出されています。これらの費用については、移行日(第2保険期間移行日のことをいいます。)における被保険者の年齢および性別に応じてその時点の基礎率(予定利率、予定死亡率などをいいます。)にもとづいたものとなるため、ご契約時には定まっておられません。

【年金払特約(15)により死亡保険金を年金でお受け取りになる場合】

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金額に対して1.0% ^{*2}	年金支払日に責任準備金から控除します。

^{*2} 年金管理費は、将来変更される可能性があります。

【通貨の換算にかかる費用】

一時払保険料、死亡保険金額、解約時の払いもどし金額などを、円から選択通貨、選択通貨から円などにそれぞれ換算する際の為替レートには為替手数料が反映されており、当該手数料はお客さまのご負担になります。TTM(対顧客電信売相場仲値)は当社所定の金融機関が公表する値となります。

具体的な為替レートは、次のとおりとなります。

目標値判定の為替レート	円建保障変更特別の為替レート	保険料円入金特約の為替レート	円支払特約の為替レート	年金払特約(15)の為替レート
TTM-50銭	TTM-50銭	TTM+50銭	TTM-50銭	TTM-50銭

(2015年5月現在の数値であり、将来変更となることがあります。)

一時払保険料を外国通貨でお払込みになる際には、銀行への振込手数料などをご契約者にご負担いただく場合があります。

また、死亡保険金、解約時の払いもどし金額などを外国通貨でお受け取りになる際には、取扱金融機関により諸手数料などの実費をご負担いただく場合があります。

※諸手数料は取扱金融機関によって異なります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター
Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>